

# 令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

## ワークショップ実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	公益社団法人日本舞踊協会
公演団体名	公益社団法人日本舞踊協会

内容
<p><b>「浴衣を着て日本舞踊を踊ろう！」</b></p> <p>●日本舞踊の基本的な所作を体験 ●踊りの体験 「風神雷神」～役になりきって生演奏で踊ろう～ (使用曲:「風神雷神」 作曲:渡部進 作詞:藤舎呂鳳 制作:公益社団法人日本舞踊協会)</p> <p>日本舞踊は踊りや音楽などさまざまな要素で成り立っている芸能です。実際に浴衣を着て、所作を体験することで、現代ではなかなか学ぶことのできない日本人ならではの所作の美しさを発見してもらいます。体験はお囃子の生演奏で行うことで、音に合わせて踊る楽しさや音の魅力を体感してもらいます。</p> <p>「風神雷神」では、役のイメージを膨らませて、演じることの面白さや、表現することの楽しさを感じてもらおうと同時に、デモンストレーションを間近で鑑賞することで、長い伝統を受け継ぐ日本舞踊・お囃子、実演家に対する興味・関心を持ってもらいます。</p> <p>※浴衣の着用については、各学校の希望に応じて柔軟に対応いたします。 (情勢や参加人数を踏まえて、浴衣の着用はなしで行うことも想定しています。)</p> <p>※浴衣の着付けを行う際は、児童・生徒と至近距離で接触があるため、消毒はこまめに行い、全員マスク・フェイスシールド着用の上、行います。笛・鼓の演奏者もフェイスシールドや歌舞伎興行等で使用中の感染症対策用のマスク(布のもの)を着用の上、児童・生徒と十分に距離をとって実施いたします。</p>

タイムスケジュール (標準)
<p>全 110 分程度(授業 2 コマ分+休憩時間) 浴衣の着付け(約 20~30 分) ~ 所作・踊り指導(休憩を含め 約 90~80 分)</p> <p>※所要時間に不都合がある場合は、プログラム内容を短縮、実施時間を放課後や早朝の時間に設定するなど臨機応変に対応いたします。</p> <p><b>【浴衣の着用なしの場合】全 90 分程度(授業 2 コマ分+休憩時間)</b> <del>浴衣の着付け(約 20~30 分)</del> 所作・踊り指導(休憩を含め 約 90~80 分) ※浴衣の着用をなしで行う場合は、授業時間が短くなります。(110 分 → 90 分) ※1 時間以内のプログラムをご希望の場合は、体験内容の一部を省略します。</p>

**派遣者数 ※派遣者数の内訳を御入力ください**

合計 7 名を想定

( 実演家 6 名 ( 舞踊家 4 名・演奏家 2 名 ) + スタッフ 1 名 )

※コロナ対策により、1 名増員することで着付け時間を短縮。

※ソーシャルディスタンスを保ちつつも、より細やかな指導が可能に。

※万一の事態も想定して地元の実演家とも連携の上、実施。

( 派遣する舞踊家 1 名は地元在住の舞踊家を想定 )

※学校側の受け入れ人数等に制約がある場合は、それに則って実施

**学校における事前指導**

実技が中心のプログラムですが、ご要望に応じて質疑応答や給食時間等を利用した懇親タイム等を設定するなど柔軟に対応いたします。保護者や地域の方々の観覧も歓迎いたします。

(※給食時間等を利用した懇親タイムの実施は、感染症対策を踏まえ、実施なしを想定)

# 令和4年度文化芸術による子供育成推進事業—巡回公演事業—

## 本公演実施計画書【コロナ対策版】

制作団体名	公益社団法人日本舞踊協会
公演団体名	公益社団法人日本舞踊協会

<b>演目</b>
「ひらけ！日本舞踊のとびら」 鑑賞演目：「風神雷神」「浦島」「飛び出す！日本舞踊玉手箱」

<b>派遣者数</b> ※派遣者数の内訳を御入力ください
出演者：22名（舞踊家10名・演奏家10名） スタッフ：24名（舞監1・舞監助手2・大道具8・照明音響6・衣裳2・床山1・運送1・事務局3） 合計：46名
<b>複数回公演の場合／出演者：22名 スタッフ：28名 合計：50名</b> （※申請時からの増員…大道具2名・照明音響2名）
※複数回公演の場合は、通常公演よりも更に時間に制約が出るため（主に仕込み時間）通常公演よりも最大4名ほどの増員を見込んでおります。

<b>タイムスケジュール（標準）</b>
8時頃：学校到着～搬入（～8:40頃）・仕込（所要時間約3時間）／11時半頃：リハーサル 本番前に安全確認（舞台設備・照明等の安全を先生と確認） 13時15分頃：児童・生徒入場／13時半：開演／15時20分頃：終演 ～17時頃 搬出・撤収 ※ご希望の開演時間や搬出入口の状況・環境等により、時間は前後いたします。
<b>複数回（2回）公演の場合（約60分）</b> 7時～7時半頃：学校到着～搬入（～8時すぎ頃）・仕込（所要時間約2時間半）／10時半頃：リハーサル 本番前に安全確認（舞台設備・照明等の安全を先生と確認）
<b>【開演時間（例）】第1回目：11時～11時半頃開演（全60分）／第2回目：14時頃開演（全60分）</b> ※ご希望の開演時間や搬出入口の状況・環境等により、時間は前後いたします。

## 実施校への協力依頼人員

搬出入時、特に厳しい条件がある場合（体育館が地下・2階以上の場合、トラックの横付け不可等）は、約～10名ほどご協力をお願いする場合がございます。

（可能な範囲でご協力をお願いいたします。作業時は、スタッフが危険のないよう指導します。）

\*中学校では生徒さんの協力を歓迎します。小学校は教職員・PTAの方をお願いします。

※感染症対策を踏まえて、原則、実施校のご協力なしで実施する予定です。（スタッフ要増員）

※体験の一環として、特に学校側からご希望（※機材を運ぶ体験をさせたい・舞台の設営を体験させたい等）があった場合は、安全確保に留意の上、ご協力をお願いする場合がございます。

## 演目解説

### 「ひらけ！日本舞踊のとびら」

“みる・きく・おどる”をキーワードに日本の伝統芸能である日本舞踊を楽しく体験しながら学んでもらいます。

最初に出演者が舞台に勢揃いし、ご挨拶（口上）からプログラムがスタートします。

※短縮版…鑑賞演目は通常版と同内容・体験部分を一部省略して上演※

### ～「みる部屋・きく部屋・おどる部屋」～

★日本舞踊とはどんなもの？みんなで日本舞踊家の踊りをみてみよう！

（※短縮版は体験内容を一部省略します）

日本舞踊家の実演を鑑賞するほか、“お辞儀・立ち座り・拍子を踏む”などの日本舞踊の基本的な所作を体験します。

★邦楽器について学ぼう！（※短縮版は一部省略します）

日本舞踊の伴奏音楽である長唄（唄、三味線）、鳴物（小鼓、大鼓、締太鼓、笛など）の特色や音色の魅力を演奏や踊りの実演を通して発見してもらいます。

★四季の風物の表現や踊りを体験！（※短縮版は体験内容を一部省略します）

生演奏に合わせて全員で日本舞踊を踊ります。

### ～鑑賞演目「風神雷神」「浦島」「飛び出す！日本舞踊玉手箱」～

初めて日本舞踊に触れる方にも楽しく、日本舞踊の表現の多彩さを感じてもらえる3作品を選定。

★「風神雷神」 ワークショップで体験する風の神と雷の神の戦いを描いた踊りです。

本公演では、生演奏のフルバージョンでご覧に入れます。

★長唄「浦島」 浦島太郎のおとぎ話の踊りです。

1828年に江戸中村座で初演され今もなお、親しまれている作品です。自然の描写を踊りで表現したり、役柄を演じ分けたり、浦島太郎から老人への見事な早変わりなど見どころが詰まった作品です。

★群舞演目「飛び出す！日本舞踊玉手箱」 舞踊家7名と演奏家12名が勢揃いする群舞です。体験コーナーで学んだ所作や踊り、邦楽器コーナーで学んだ表現を随所に盛り込んだオムニバス作品です。

### 児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

初めて触れる日本舞踊を楽しく学び体験してもらえるよう司会者と一緒に、日本舞踊のとびら（【みる部屋・きく部屋・おどる部屋】）を開いていくという演出で行います。

- 【みる部屋・きく部屋・おどる部屋】の各場面、実演と体験を交えながら進行します。司会進行役が、出演者（実演を披露・解説や体験のレクチャー役）に質問を投げかけ、子供たちと一緒に学んでいくという趣向で展開していきます。
- 体験コーナーでは、全児童・生徒が体育館のフロアで、日本舞踊の基本的な所作や美しい表現を学び、邦楽器の生演奏に合わせて踊ります。（※短縮版は体験内容を一部省略します）
- 配布する公演の資料には、写真を多数掲載、本公演での印象的な場面を書き込む欄を設けるなど、それぞれにお気に入りの体験箇所を見つけてもらえるような構成にします。

### 児童生徒とのふれあい

●開場時間・体験の最中には、~~ステージ上で出演者が解説を交えながら見本をみせるほか、体育館のフロアでも日本舞踊家が児童・生徒の間近で、直接指導します。~~

※体育館フロアでの演者からの直接指導については、学校のご希望も踏まえつつ、対応いたします。

●ワークショップ同様、質疑応答時間を設けるなど、ご要望に応じて事後学習の機会を設けることも可能です。また、学校新聞などの取材やインタビュー、撮影にも応じます。